

【 お申込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください 】

ファンドの費用	
＜投資者が直接的に負担する費用＞	
購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3%（税抜3.0%） です。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	ありません。
＜投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用＞	
運用管理費用（信託報酬）	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し 年率1.793%（税抜1.63%） を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。毎計算期間末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。委託会社がマザーファンドの投資顧問会社に支払う報酬額は、投資信託財産の日々の純資産総額に年率0.80%を上限として乗じて得た金額とし、毎計算期間末または信託終了のとき、委託会社の報酬から支払うものとします。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税 等 *その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

- ◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
- ◆ファンドの費用については、当資料作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

投資リスク

ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、特定の業種への集中投資リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還やファミリーファンド方式の留意点、分配金に関する留意事項、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第350号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社りそな銀行
ファンドに関する照会先	委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社 ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/ お客様サポートライン：050-4561-2500（受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで）

販売会社一覧（2023年9月末現在）

金融商品取引業者等	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第7号	○		○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第593号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行（インターネット専用）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）（インターネットトレードのみ）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第22号	○		○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第3号	○		○	
三菱UFJ信託銀行株式会社（インターネットトレードのみ）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○		○	○

(3176843)

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・次世代医療テクノロジー®・ファンド（年2回決算型）

愛称：**みらいメディカル®**

追加型投信/内外/株式

販売用資料
2023年10月

なるほど！
みらいメディカル®

技術の進化によりさらなる 成長が期待される『医療テクノロジー』

みらいメディカル®は設定来、コロナ・ショックなどのイベントを乗り越えつつ資産を成長させてきました。革新的な変化を遂げる医療テクノロジーについて、今、注目される医療分野と銘柄例からご紹介します。

みらいメディカル®は、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式を実質的な投資対象とするファンドです。

ファンドにおける医療テクノロジー関連企業とは？

医療機器

診療器具

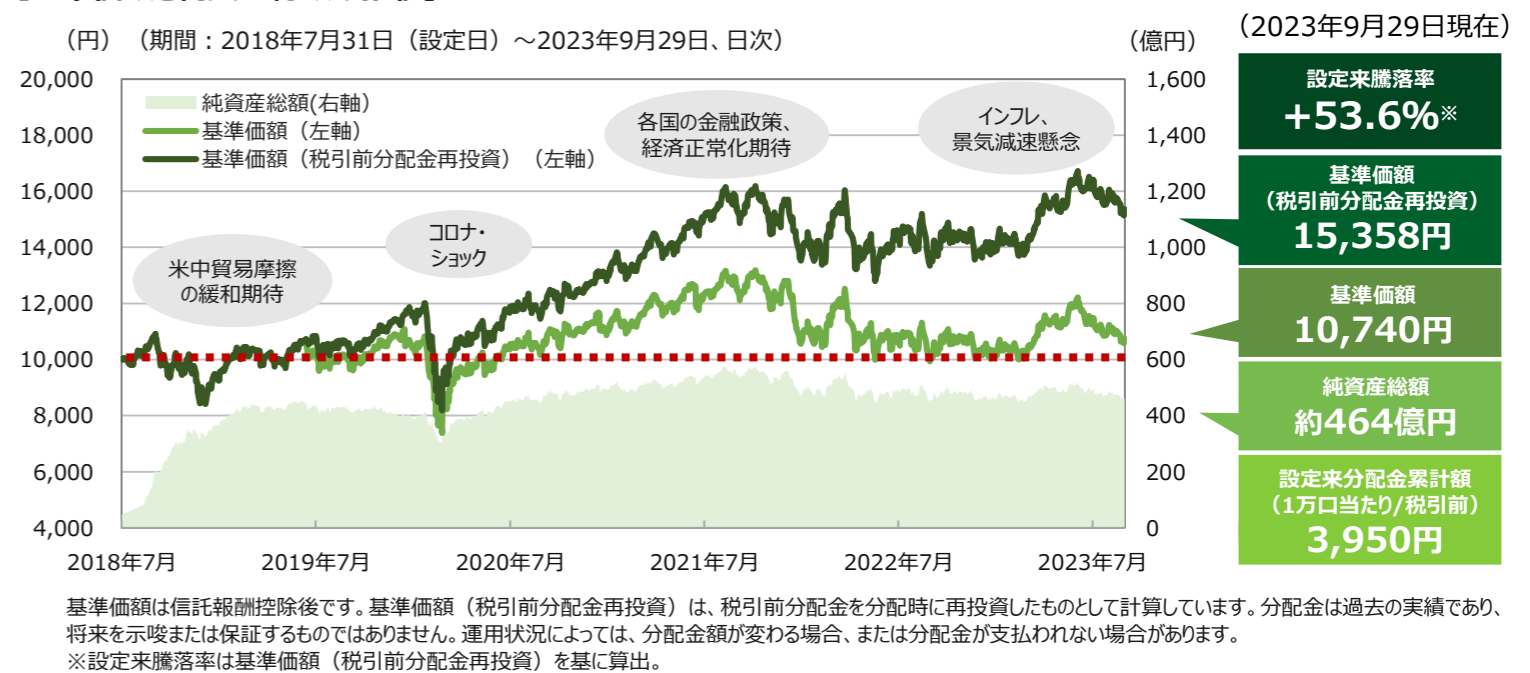
画像装置

医療サービス

等

次世代医療テクノロジー®、みらいメディカル®, MEDITECH®およびメディテック®はアムンディ・ジャパンの登録商標です。

【基準価額と純資産総額の推移】



基準価額は信託報酬控除後です。基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。
※設定来騰落率は基準価額（税引前分配金再投資）を基に算出。

3 すべての人に健康と福祉を

3. すべての人に健康と福祉を「みらいメディカル®」は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

出所：国際連合（https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/sustainable_development_goals/）

【当資料のお取扱いについてのご留意事項】当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託は、値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。投資信託の基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。当資料に記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

中長期的な投資魅力を有するみらいメディカル® 技術の進化によりさらなる成長が期待される『医療テクノロジー』

💡 ファンドの3つの魅力

1 人生100年時代
高齢化に伴う市場拡大が期待されています



2 テクノロジーの進化により医療技術・サービスは飛躍的な発展を遂げています

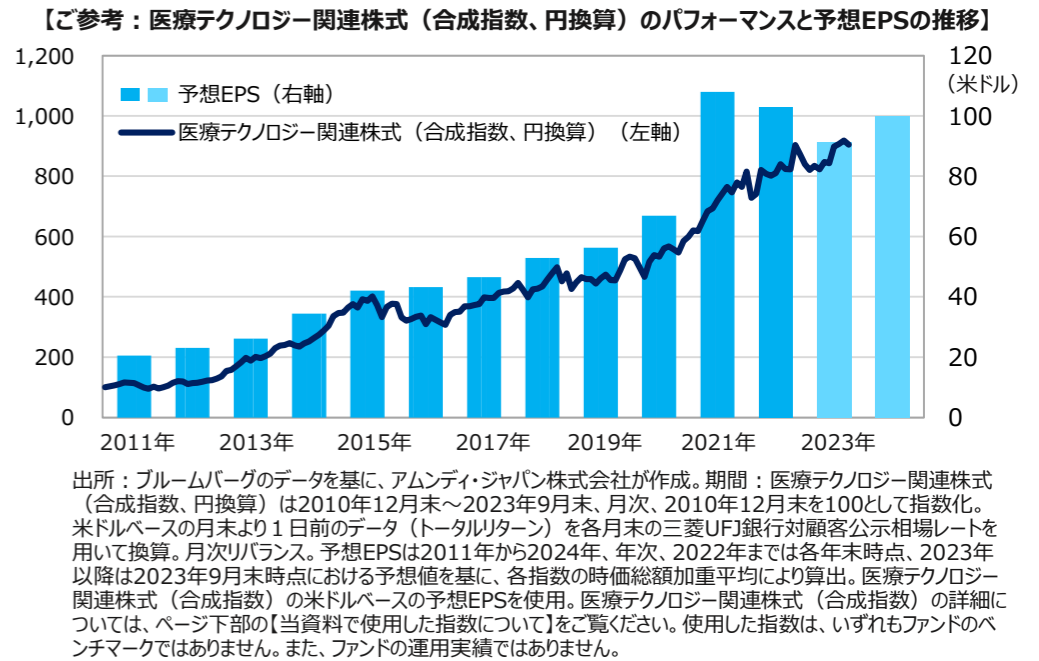
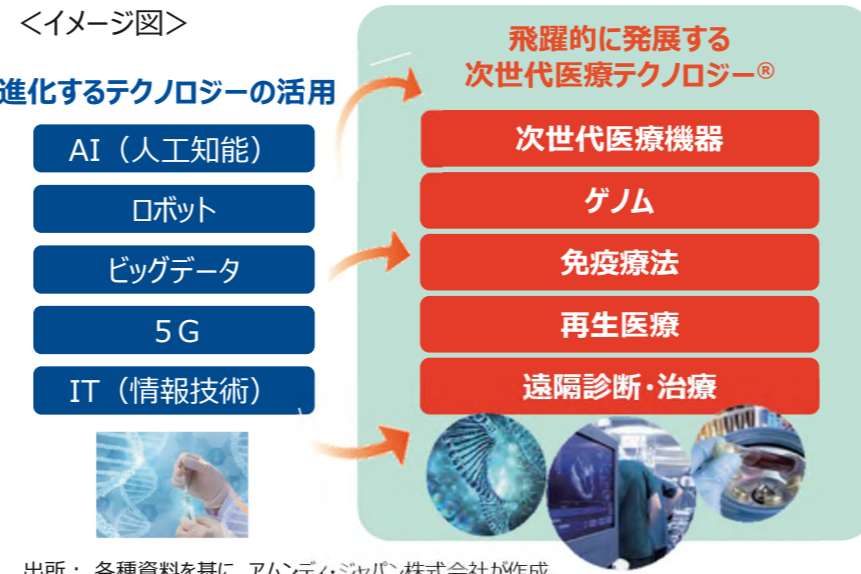


3 利益成長に支えられた
株価成長が期待されます



2050年（予想）には先進国*の
4人に1人が65歳以上

* 先進国は国際連合の定義によります。
出所：国際連合（World Population Prospects 2022）



💡 今、注目される医療分野と銘柄例（2023年9月末現在）

ここが
すごい！

**AIを活用した
画像診断支援**

早期発見、
医師の診断をサポートへ

AIが医用画像を解析し、大量データの高速処理、ポリープ等の早期発見や見落とし防止など、医師の診断をサポート。医療関係者の負担軽減につながり、AIを活用した診断治療分野の成長に期待。

銘柄例

- ・メドトロニック（アメリカ）
- ・オリンパス（日本）
- ・シーメンスヘルスケア（ドイツ）

ここが
すごい！

**ロボット技術を用いた
手術支援ロボット**

高精度、体への負担を
低減した手術の実現

ロボットアームにより狭いスペースでも高精度の手術を実現。小さな切開で体への負担も少なく、また合併症のリスクも低減。内臓、骨や脳に至るまで用途が広がっており、今後の需要拡大に期待。

銘柄例

- ・インテュイティブサージカル（アメリカ）
- ・ストライカー（アメリカ）
- ・メドトロニック（アメリカ）

ここが
すごい！

**3Dプリンタを活用した
身体モデルの製造**

オーダーメイド製造で
カスタマイズが可能

人骨などのモデルをオーダーメイドで製造が可能。患者に合わせたカスタマイズが必要となる医療分野は3Dプリンタと相性が良いと考えられ、今後さらなる普及の見込み。

銘柄例

- ・ストライカー（アメリカ）
- ・スミス・アンド・ネフュー（イギリス）
- ・ソノバ・ホールディングス（スイス）

ご参考：日本の組入銘柄例
（2023年9月末現在）

銘柄名	概要
オリンパス	2019年からの企業変革プランにより、医療事業に特化。消化器内視鏡分野において世界で7割のシェア（2022年10月現在）を有し、医療用光学機器で世界最大手の一社。
テルモ	カテーテル治療、心臓外科手術、腹膜透析、輸血や細胞治療などに関する幅広い医療製品・サービスを提供。世界160以上の国、地域で事業を展開。
HOYA	2つの事業領域「ライフケア」と「情報・通信」において、メガネやコンタクトレンズ、医療用内視鏡、白内障用眼内レンズ、精密機器、デバイスなど多角的に展開するグローバル企業。

出所：各社ホームページおよび各種情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。当資料内に記載した銘柄例は、「アムンディ・次世代医療テクノロジー®・マザーファンド」の2023年9月末現在の組入銘柄を例示したものであり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また将来のファンドへの実質的な組入を保証するものではありません。写真やイラストはすべてイメージです。【当資料で使用した指数について】医療テクノロジー関連株式（合成指数）：MSCIワールド・ヘルスケア機器サービス・インデックス、MSCI World Biotechnology GICS Level 3 Index、MSCI World Life Sciences Tools & Services Indexを時価総額で加重平均して算出。MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。上記は、当資料作成日現在取得可能なデータや情報に基づくものであり、将来を示唆・保証するものではありません。